

ひまわり通信

SSKS
No.97



SUN FLOWERS HOUSE
「ひまわりの集い」

コロナによる移送事業の変動

代表理事長 隅 一 清

中国を発祥源とした、コロナが全世界を陥れるのに、二、三ヶ月しかかからなかったスピードの速さに、日本でも対応の遅さは問題になっていきます。コロナは今のところ咳などの飛沫で感染するようなので、うがい・手洗いを促していますが、これももし空気感染するとしたら、恐ろしい事になります。

人類が月や火星に行ける時代になっても、コロナはその先を行っている感じですが。七月十日時点で、新聞によると全世界で感染者が千三百万人、死者が五十五万人とか、アメリカでは三百万人で死者が十三万人という驚くべき数字になっています。幸い日本では、感染者も死亡者数も少なく、緊急事態宣言も解除されました。

テレビ等を見ていて、本当に日本人は律儀だと思いました。外出をするなど言えば誰も出ないし、間隔を空けて並べと言えば空けて並ぶし、マスク着用と言えば大人も子供もみんなマスクをしています。なまじマスクをしていないで外に出ると、非国民のような目で

見られます。

私の様な古い人間は、昔の事を思い出して、お国の為に戦えと言われて死んでいった人々や、お偉いさんは白米を食べていて、我々は種芋を食べさせられていた時代を思い出します。

ともあれ、会の移送事業も四月は透析以外の人は、ほとんどが小池お上の言うがままに、巣ごもりになり買物病院など一切出なくなりました。十五人いるドライバ―は一日二人か三人が動くだけで仕事がありません。昨年四月は、移送料が



百二十万円あったのが、今年度は四十万円でした。五月になって少し回復し、六月は七〇%位まで戻りました。ドライバー達に固定給は支払っていないので、その分は助かりますが、家賃・駐車場代・車両保険代・維持費・人件費等が必要なので国の持続化給付金を申請して、二百万円を頂きました。また、世田谷区の助成金も例年通り交付されてホッとしています。

移送料の大幅ダウンや、ひまわりの集い事業も四月五月のバス旅行も中止になり、今年度の事業予算も新しく作り直しました。

理事の中には、車両を減らせば経費も少なくなるかと提言してきた方もいましたが、私としては一過性の問題だと思っていますので、忙しくなったらまた車探しに飛び回るのは大変なので、減らす事は考えていないと答えました。

前に取材を受けた、テレビ朝日のスーパーJチャンネルも移送サービスの現状は？というところで、テレビ電話で取材を受けました。その頃は本当に透析利用者だけだったので、娘がスマホで利用しているところを撮ってテレビ朝日に送りました。巣ごもり中の人が多かったのか、放送後にあちこちから連絡が入りました。放送を見て、こんなサービスがあるのかと問合せで、利用者になって頂いた方もいます。クレーマーからも連絡が入り、八十過ぎていらないのになんでもみじマークを車に付けていないのか！と怒鳴られました。皆さん巣ごもりで、ストレスがたまっている様でした。最近、私も三ヶ月ぶりに外に飲みにいきました。

等々力溪谷から

コロナを考える

顧問 松宮丞二

世田谷区内の等々力溪谷沿いに住んでから80年あまりになりますが、等々力溪谷は単に自然が豊かであるのではなく、その変容ぶりには著しいものがあります。

戦争中は溪谷の崖に横穴を掘って防空壕にしています。火山灰層である関東ローム層(赤土)なので穴を掘るのも比較的楽でした。戦前から戦後まもなくは樹高が低く、容易に木にも登れたので、枝を伐採して乾燥させ、ストーブの薪にしていました。

その後燃料転換が起こり、石炭や石油が普及し、薪は使われなくなり、人手の入らない溪谷の森は遷移し、いわゆる極相林になりました。

樹高が約20メートルに達するものもあり、日当たりが悪くなり、表土は荒れ、下草も生えず、植生が変わり、あまり日光を必要としない、いわゆる陰樹と呼ばれるアオキやシユロなどが密生し、個人的には単純で面白くない景観に代わっていききました。

アオケラ



昔見られたホタル、キジやコジュケイなどは見られなくなり、代って一九六九年ころからベッコウとして飼われ逃げ出したとされる外来種のワカケホンセキセイインコなどが見ら

れるようになり
ました。

最近庭にきた
生き物を紹介し
ます。

今回のコロナ騒ぎで人間の活動が停滞し、二酸化炭素排出量の増加も抑えられたことから地球環境面では大きなプラスにな

っています。観光客の減少で、観光地の環境も改善されています。自動車や工場から出る排気ガスが減り、航空輸送による大気中への有害物質の排出も減りました。

この現象から我々の日常の行動がどれだけ自然環境に影響を与えているのかを推し量ることができるとは思いません。

イギリスの霊長類学者であるジェーン・グドール女史は「われわれが自然を無視し、地球を共有すべき動物たちを軽視した結果、パンデミックが発生した」と述べています。

また霊長類学者・人類学者の山極寿一京都大学学長も「近年のウィルス性の感染症は、自然破壊によって野生動物との接触を加速したことが原因である」と述べています。

人類はコロナ終息後、あるいは終息前でも、懸命に経済回復に向かい、環境対策は後回しになることが懸念されます。

この際、私どもの一つ一つの行動が自然環境とどのように連なっているのかを考え、感染を世界に広げないためにも、人や物の移動を減らす手段として、地産地消に努めるなど、普段の生活を見直すことが大事なのではないでしょうか。



コダヌキ

ひまわり句会

菅野孝夫 選

草の芽の一つ一つに朝の雨
寒明けと層はいふが後戻り
ペランダに花の種蒔く土いちり
泰山木花おほらかに天を指す
空に舞ふ泰山木の白い花
羽山貴子

九段坂雲のあどの初桜
電線の名残の雪の雫かな
時や枝舎の前に花植えて
杏咲く千曲の岸のほどりかな
虫除けの微かなかそり夏に入る
作田 志津子

春風に揺るる垣根や人の声
城跡の高き石垣木の芽風
ほかほかと差し込む光君子蘭
薫風の通り抜けたる寺の門
独り居の新茶と和菓子母恋し
大谷 のり子

春愁や八目鯉の八つ目の目
ジャスミンの花茶の開く春の昼
富士遥か広げて干して桜えび
シユレットターに過去のあれこれ春愁
たんぽぽの葉となりたる高さかな
小田原 郁代

華やかに医大通りの花吹雪
春日和遠き店まで万歩計
葉桜を窓から眺め退院す
こどもの日動画で届く子供の絵
病院の特合室の熱帯魚
亀井歌子

世田谷線レールに浴びて草萌ゆる
山門にうこんの桜観音堂
独り居のペランダの風五月かな
三人の男兄弟鯉のぼり
だんご虫雨の手に乗せ夏はじめ

行事報告

◎四月 日帰りバスハイイク

- ・日時 四月十九日(日)
- ・行先 ぐんまフラワーパーク
(コロナの為 中止)
- 令和二年度第一回理事會
- ・四月中旬書面にて各理事に連絡

ひまわりの集い

- ・書道、俳句、絵手紙 いずれも中止

◎五月 日帰りバスハイイク

- ・日時 五月十七日(日)
- ・行先 茨城フラワーパーク
(コロナの為 中止)

ひまわりの集い

- ・書道、俳句、絵手紙 いずれも中止

◎六月

第十五回記念總會 創立二十五周年記念祝賀會(九月に延期)

- ・日時 五月十七日(日)
- ・行先 茨城フラワーパーク
(コロナの為 中止)

ひまわりの集い

- ・書道第三金曜開催、俳句中止
- 絵手紙は顔合せ食事會開催

◎七月

日帰りバスハイイク

- ・日時 七月十九日(日)
- ・行先 ぐんまフラワーパーク
(コロナの為 中止)

ひまわりの集い

- ・書道第一金曜開催
- 俳句、絵手紙 中止



第16回通常總會及び 創立25周年記念式典のご案内

令和二年度總會に出来なかつた、創立25周年記念式典と併せて法人取得16回(通年27回目)の通常總會を開きますので、皆様の参加をお待ちしております。

◎日 時 令和三年六月二十日(日)
11時から

◎会場 三軒茶屋キャロットタワー
26階スカイキャロット

*ご希望の方は送迎します。

◎總會議事

- 令和二年度 事業報告
- 令和二年度 會計報告
- 令和二年度 移送事業報告
- 令和二年度 監査報告
- 令和三年度 事業計畫案
- 令和三年度 予算案
- その他

◎記念式典

(總會終了後、同会場で開催
予定時間12時30分〜15時)

- ・開會の言葉
- ・理事長挨拶
- ・來賓挨拶(2〜3名を予定)
- ・乾杯
- ・懇親會(全員着席です)
- ・アトラクション
- ・閉會の言葉

*懇親會に出席される方は、会費五千円を頂きます。
 *資料は四月上旬に発送しますので、五月二十日
 必着にてご返事下さい。尚、欠席される方は「委任状」をお願い致します。
 *總會出席者は、總會資料を必ずご持参下さい。

總會(記念式典)会場案内図

三軒茶屋キャロットタワー26F
レストランスカイキャロット

電話 03-5430-1185



キャロットタワー2階より、26階レストランスカイキャロット・展望台ロビー専用エレベーターがあります。

◎理事會を開催します

總會・記念式典の前に理事會を開催します。理事の方は、現地キャロットタワー内会場に10時までにお集り下さい。

◎諸般の都合で、總會・式典は今年度は行いません。

行事予定

◎秋の二泊二日研修旅行 磐梯国立公園五色沼周辺

十月二十四日(土) 二十五日(日)

当初の予定では、湯沢方面に行く予定でしたが、私が個人旅行でいつも利用している福島の色沼そばの『クオレ』というペンションへ行くことにしました。

五月の連休に行く予定でしたが、コロナ騒ぎでキャンセルになりました。八月の休みに下見に行つてきます。

曾原湖の湖畔にたたずむペンションで、湖の向うには磐梯山が見えます。紅葉の頃は一段と素敵ですので、是非ともご参加下さい。

◎日時 十月二十四日(土)～二十五日(日)
◎行程 福島県五色沼周辺
野沢～富ヶ谷～中央環状線～川口～東北道～蓮田SA(休)～小河内SA(休)～安達太良SA(休)～二本松IC下車～49号線～道の駅つち湯(休)～吾妻バンダイレールライン～クオレ着(泊)

二日目

※時間によっては五色沼見学
磐梯ゴールドライン～会津若松～118号～芦ノ牧温泉～大内宿(見学)～道の駅しもごう(休)～甲子トンネル～白河IC～東北道～川口～野沢

◎参加費

23,000円
(参加人数によって変動有り)

*参加希望の方は、九月中旬までにご連絡下さい。チャリティ協会の補助を受けるので、申請が必要になります。

◎十一月日帰りバスハイク

十一月十五日(日)

コロナの影響で、四月、五月、六月、七月と日帰りバスハイクが中止となりました。十一月も今のところは、予定通り行うつもりですがコロナの第二波、第三波があるかもしれませんので…。

◎日時 十一月十五日(日) 九時出発

◎行程 秩父冬桜の里

野沢～大泉～関越道～高坂SA(休)～本庄児玉IC～462号線～神川町～城峰公園～秩父冬桜の里(見学・昼食)～道の駅上州おにし(休)～関越道～野沢

◎参加費 九千円(別途個人移送料千円)

*参加希望者は、十月下旬までにお申し込み下さい。



編集後記

コロナ騒ぎは一向に収まる様子が見えませんが、それどころか、七月中旬には、一日の感染者が百名を越え、十六日には二百八十六人になりました。十九日に予定していた日帰りバスハイクも急遽中止にしました。

バス会社、役所、行先のぐんまフラワーパーク、参加者二十五名等に電話で連絡しました。四カ月ぶりのバス旅行だったので、残念がる人もいました。

八月は暑気払いの食事会、九月は総会、十月は一泊二日の研修旅行と続くので、日帰りバスハイクは十一月までありません。区もコロナで財政が厳しいので、来年度からはバスの派遣は出来ないかと連絡がきました。

コロナ騒ぎが終息しても、いろんな方面からのしわ寄せがきそうです。

例年になく本格的な梅雨で、野菜も高騰しています。鹿兒島の水害も酷いものです。それでも、笑顔で前を向いて頑張るしか仕方ないです!という姿に感激しています。

「ひまわり通信」97号

2020年8月5日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷 隅 一 清

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

TEL 03-34487-5081

FAX 03-34422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会
世田谷区 6-26-21 (定価100円)